



迷ったら行くべき！！
英語もアクティビティーも充実していて
何もかもが新鮮で最高の1ヶ月でした！

建築学部 建築学科 1年 藤原 実佳子さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：UCI

今回私が留学しようと思った理由は2つありました。1つ目は、英語が自分の中で最も苦手な教科なので少しでも向上させたいと思ったから、2つ目は、もともと入学する前から芝浦工業大学は留学プログラムに力を注いでおり留学に参加しやすい環境があると知っていたため、自分もぜひ参加してみようと思い立ったためです。

UCIでの授業は午前中に80分間の授業が2コマありました。1時間目は航空宇宙分野、建築分野、生命科学分野など理工系の分野について英語で学ぶ授業で、関連単語や文法を学ぶと同時に、実習として工作の時間などもあり、とても楽しく学ぶことができました。2時間目の授業は、聞く力と話す力を身に着けるための授業でした。この授業は、登校初日に行われたプレイスメントテストでクラス分けが行われ、また他大学の人たちとの交流の場にもなりました。また、授業の中で2回ほど1人ずつみんなの前でプレゼンをする回がありとても良い経験になりました。授業は基本的に正午までには終わるので、午後には日替わりで様々な研究室を訪問したり、近隣の水の再処理施設を見学に行ったりしました。また、月水金の週3日、CPミーティングというUCIの学生を1人含んだグループ活動なども子行いました。このCPミーティングはこの留学で最も充実した活動の1つでした。活動内容は学生さんといろいろなお話をしながらショッピングやお茶をしたり、学生さんのおうちにお邪魔させてもらいゲームや料理をしたりというもので、毎回とても楽しく充実した3時間を過ごすことができました。

今回の留学を通して、今まで自分の中にあった外国人の人と話すことに対する苦手意識を幾分か払拭することができました。また、アメリカに1か月の滞在をするのもホームステイをするのも、何もかもが自分の中で初めてだったのでとても新鮮でとても素晴らしい経験になりました。長いようで短かった最高の1か月間でした。



英語の授業に積極的に参加することで英語力が身に付きました。留学を通して、語学勉強のやる気がアップしました！

システム理工学部 生命科学科 2年
松尾友葵さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ・UCI

私は昔から英語が好きで学校における英語の授業も好きでしたが、いくら英語の文法ができたとしても英会話ができるというわけではありません。私は、高校時代から留学に憧れていて、留学することで英会話をする楽しみを感じたいと思っていました。

アメリカUCIは4週間プログラムで、アクティブ度も満点でした。平日は9:00am-10:20amがEnglish for Science & Technologyの授業が行われ、10:30am-11:50amがSpeaking & Listeningの授業が行われました。クラスは最初にテストによってレベル分けされているため自分のレベルにあった授業が受けられました。午後は、週に3回CP Meetingという少人数グループに分かれて現地の学生と触れ合う機会が設けられていたため、英語をたくさん耳にすることができ、自分で話すことにも挑戦できました。また、CP Meetingでは、アメリカの文化を学ぶことができました。私は、CP Meetingが楽しくて班員とも仲が良かったため日本に帰った今でもみんなでも連絡を取り合っています。その他に、私が楽しみにしていたものはホームステイです。ホームステイを通して、英語しか話せない環境を作り上げることで英会話がたっぷりできました。初日は速くて聞き取れなかった単語なども徐々に聞き取れるようになってきてホストファミリーと過ごす時間が毎日楽しかったです。週末には、ビーチやショッピングに連れて行ってもらい充実した日々を過ごせました。

たった1ヶ月の短期留学でしたが、日本にいただけでは得られない貴重な体験をたくさんできました。英語が飛び交う毎日が本当に楽しくて毎日があつという間でした。現地の友達も多くできたため、また会いに行きたいです。私は、将来英語を使う仕事に携わりたいため、留学をして得た経験を生かしてこれからも語学勉強を楽しくやりたいと思います。



自分からどんどん英語を使っていくことでスピーキングとリスニングの能力が向上！

システム理工学部 学科3年 藤江 凌也さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム


■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：アメリカ UCI

就職活動を見据えて、TOEICの点数を向上させる目的で留学に参加しました。もともとTOEICはリスニングの点数がリーディングに比べて低かったので、英語を聞く機会を増やすという点では最適のプログラムでした。また、UCIの留学はオプションツアーなども充実しており、普段行けないような所にも行けると知ったので、それも決め手の一つにしました。

また、ホームステイも経験できることは英語力向上につながるのはもちろん、良い人生経験にもつながりました。家庭内で英語で会話を楽しんだり、テレビで海外の番組を見たりすることで英語に触れる機会がとてたくさんありました。UCIでの授業については、基本は平日の午前中のみなので多すぎずちょうど良いと感じました。最初にクラス分けテストを行い、自分に合ったクラスに入れてもらえるので授業について行けなくなる心配もありませんでした。また、一日80分を2コマでReading & WritingクラスとListening & Speakingクラスで分かれているのでとてもわかりやすかったです。また、週3回CPミーティングというものが有り、4~5人の日本人学生に対して1人のUCIの学生が付いてグループごとに出かけたり、お話ししたりするプログラムがあります。このプログラムにおいても現地学生と積極的に会話を行うことで自然と英語力が身につきました。

今回1ヶ月の留学を経て、自分から積極的に英語を使っていくことが大切だと感じました。また、慣れない土地での生活も経験できるので、困ったときは友人を頼るなどして協調性なども身につけることができました。今回の留学を経て、日本でもTOEICの勉強など引き続き行い、忘れ無いようにすることが大事だと感じました。



自分の英語が通じていることを実感し
自分の英語に自信を持つことができました。
視野が広がりました！

工学部 機械工学科 1年 徳永 淳志さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可

派遣先：アメリカ・UCI

毎日英会話で一年間英語を話してきて、そろそろ自分の実力を試してみたかったことに加え、将来海外で働いてみたい気持ちがあり、語学留学に参加することを決めました。UCIを選んだ理由は、一ヶ月という期間が初めての留学にはちょうどいいと思ったからです。

滞在期間中は平日は午前中80分授業を2コマ受け、午後は週3回現地学生と交流するCPミーティング、大体週1で研究所などを見るサイトビジットがあり、日常英語から専門的な英語を学ぶことができました。休日はユニバーサルスタジオやサンフランシスコ、ディズニーなどのツアーに参加したり、自分たちで計画を立てて遊びに行ったりしてカリフォルニアを満喫しました。また、ホームステイだったのでアメリカの暮らしを肌で感じることもできました。

一ヶ月という短期間のプログラムでしたが、いろんなことを学ぶことができました。自分とは違う文化の元で育った人たちと関わり、今までの自分にはできなかった考え方や行動をできるようになり、幅が広がりました。また、一緒に参加した芝浦の生徒も含め他校の学生とも仲を深めることができ、帰国後の学生生活がより充実しています。今後は、グローバルPBLやインターンシップなどにも参加してみたいと思います。



英語力アップには打って付けのプログラム！ 現地学生との交流でコミュニケーション力 アップ！

システム工学部 生命科学科 2年
本間 裕貴さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム


■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ合衆国・UCI

大学受験で英語が思うように伸びず、大学に入ってから毎日英語に触れるようにしていても思うようにTOEICの点数が伸びませんでした。そのため、何かアクションを起こさなければ英語力の向上は望めないと思い、留学プログラムへの参加を決めました。UCIは、1か月の短期留学プログラムで、さまざまなアクティビティや現地学生との交流を通してスピーキングする機会が多いため、このプログラムに参加することを決めました。

1日のスケジュールは午前中に理工系の英語の授業を1コマ、レベル別で行われる英語の授業を1コマの合計2コマを受講します。1コマ目では、宇宙、建築、環境といった理工系に関連する分野を英語で学び、専門的な単語や文章に触れることができました。2コマ目では、レベル別でクラスが分けられ、ペアワークやプレゼンテーションを通して英語によるコミュニケーション能力を高めることができました。また、この授業では他大学の同じプログラムの学生と一緒に授業を受けるので、他大学の人も交流することができます。午後は CP Meeting を通して現地の学生と交流したり、UCIの研究室を訪問したりといったアクティビティを行います。

1ヶ月という短い期間でしたが、この留学プログラムで得られたものは大きかったです。今まで苦手意識を持っていた英語でしたが、実際に英語を使ってみることで、英語に対する考え方や捉え方が変わり、苦手意識を克服できる可能性を見出すことができました。また、UCIの学生、他大学の学生、他学部の学生といったさまざまな人とのつながりをつくることができました。この経験を通して次回は専門分野である医療工学の最先端技術をアメリカで学びたいと考えています。



本場の英語に触れることによってリスニング力アップ!さらにいろいろな人との出会いによって勉強のモチベのアップ!!

デザイン工学部 デザイン工学科 2年 長崎愛加

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否 : 可 ・ 不可

派遣先:カリフォルニア UCI

私は日頃から海外に行き様々な文化や人種の人々と交流したいと考えていました。このカリフォルニアUCIプログラムは、現地学生との交流が充実しており、このプログラムを選びました。またTOEICの成績をあげたいと考えていましたが普段なかなか勉強する事が出来ずにいたため、本場の英語に1ヶ月間の間触れることで学習の意欲や習慣を身につけたいと考えたことも理由のひとつです。

滞在期間中は午前中に授業があり科学やアメリカの文化について英語で学んだり興味深いものばかりでした。授業の形式としては発表やディスカッション、実際にものを作ってみたり一方的なものではなくとてもたくさんの事を学びました。午後は様々な施設への訪問や現地学生との交流がありたくさんの会話をすることで様々な発見がありました。

留学に行く前は1ヶ月ホームステイすることや知らない土地で生活することに不安でいっぱいでしたが、終えた今この期間がはやく感じられてとても充実した生活を送ることが出来ました。一番多く学ぶことが出来たのはホームステイ先の家族との会話の中でした。ホストマザーは英語が苦手な私にも何度も話をしてくれました。その中で自分の英語力不足を痛感しました。TOEICの成績を上げることはもちろん自分の意見を英語で伝えられるようにこれから勉強していきたいと思いました。また留学中は意見を発表する機会が多く自分の意見をしっかりと持ち、人と接することが出来るようになりました。